

釧路工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	国語
科目基礎情報						
科目番号	0029		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報工学分野		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『現代文 A』（東京書籍）、『新総合 図説国語』（東京書籍）					
担当教員	館下 徹志					
到達目標						
コミュニケーション能力の基礎力を養い、「読む」「書く」「話す」「聴く」、それぞれの能力を総合的に生かすことができる。また、教材を通じて人類の文化にも触れ、幅広い視野に立って物事を考えることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	「読む」「書く」能力を十分に生かし総合的に活用することができる。		「読む」「書く」能力を一定程度生かして活用することができる。		「読む」「書く」能力を生かして活用することができない。	
評価項目2	「話す」「聴く」能力を十分に生かし総合的に活用することができる。		「話す」「聴く」能力を一定程度生かして活用することができる。		「話す」「聴く」能力を生かして活用することができない。	
評価項目3	人類の文化に触れ、幅広い視野に立って物事を考え、十分に表現することができる。		人類の文化に触れ、それなりの視野に立って物事を考え、表現することができる。		人類の文化に触れ、幅広い視野に立って物事を考え、表現することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 F						
教育方法等						
概要	あらゆる学問の根本として国語の重要性が叫ばれつつある。また、社会人に必須なものとしてコミュニケーション能力は欠かすことはできない。この授業ではその基礎力を養うことを主眼として、「読む」「書く」ことの徹底と、「話す」「聴く」ことの訓練を進めていきたい。とりわけ現代社会との関連が期待される。					
授業の進め方・方法	教科書および配布テキストの本文を音読し、読解するとともに、論理的文章（小論文）を書くための技法を実践的に学ぶ。成績評価は定期試験（65%）、小論文（20%）、読書レポート（10%）、表記課題（5%）からなる総合評価とし、60点以上を合格点とする。読書レポートの提出は単位認定の必須条件とし、提出が遅れた場合は、遅れた週数に応じて減点する。再試験は前期末、後期末、学年末に実施し、再試験の点数を定期試験の点数と差し替えた結果、前記成績評価方法で60点以上になれば、合格（60点）とする。					
注意点	教科書、ノートはもちろんのこと、この他に国語辞典、漢和辞典、図説はいつも用意して授業に臨むこと。また、授業を面白くするための努力をしてほしい。授業に遅れたり、勝手に休んだりしないことはもちろんであるが、こちらからの質問にはしっかり答える姿勢を見せること。日頃から努力を惜しまない学生を評価したいので、提出物などはきちんと期限を守って提出するよう心掛けてもらいたい。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、評論「『身銭』を切るコミュニケーション」（内田樹） ^① 表記トレーニング ^①		論理的文章の構成や技法について理解できる。 現代日本語を丁寧かつ正確に表記できる。	
		2週	評論「『身銭』を切るコミュニケーション」（内田樹） ^②		論理的文章の構成や技法について理解できる。	
		3週	評論「『身銭』を切るコミュニケーション」（内田樹） ^③ 表記トレーニング ^②		論理的文章の構成や技法について理解できる。 現代日本語を丁寧かつ正確に表記できる。	
		4週	小説「山月記」（中島敦） ^①		登場人物の心情や語りの特徴を理解できる。	
		5週	小説「山月記」（中島敦） ^② 表記トレーニング ^③		登場人物の心情や語りの特徴を理解できる。 現代日本語を丁寧かつ正確に表記できる。	
		6週	小説「山月記」（中島敦） ^③		登場人物の心情や語りの特徴を理解できる。	
		7週	小説「山月記」（中島敦） ^④		登場人物の心情や語りの特徴を理解できる。	
		8週	前期中間試験を実施する			
	2ndQ	9週	論理的文章（小論文）を書く ^①		論点や主題、論拠が明快な論理的文章が書ける。	
		10週	論理的文章（小論文）を書く ^②		同上	
		11週	論理的文章（小論文）を書く ^③		同上	
		12週	論理的文章（小論文）を書く ^④		同上	
		13週	論理的文章（小論文）を書く ^⑤		同上	
		14週	論理的文章（小論文）を書く ^⑥		同上	
		15週	論理的文章（小論文）を書く ^⑦		同上	
		16週	前期末試験を実施しない			
後期	3rdQ	1週	評論「言葉は世界を切り分ける」（今井むつみ） ^① 表記トレーニング ^④		論理的文章の論点と主題が理解できる。 現代日本語を丁寧かつ正確に表記できる。	
		2週	評論「言葉は世界を切り分ける」（今井むつみ） ^②		論理的文章の論点と主題が理解できる。	
		3週	評論「言葉は世界を切り分ける」（今井むつみ） ^③ 表記トレーニング ^⑤		論理的文章の論点と主題が理解できる。 現代日本語を丁寧かつ正確に表記できる。	
		4週	評論「言葉は世界を切り分ける」（今井むつみ） ^④		論理的文章の論点と主題が理解できる。	
		5週	随想「分からないからおもしろい」（木内昇） ^① 表記トレーニング ^⑥		文章における具体例の提示の効果が理解できる。 現代日本語を丁寧かつ正確に表記できる。	
		6週	随想「分からないからおもしろい」（木内昇） ^②		文章における具体例の提示の効果が理解できる。	
		7週	随想「分からないからおもしろい」（木内昇） ^③		文章における具体例の提示の効果が理解できる。	

	4thQ	8週	後期中間試験を実施する	
		9週	評論「思考の肺活量」（鷲田清一）① 表記トレーニング⑦	問題提起の意味と論拠の合理性について理解できる。 現代日本語を丁寧かつ正確に表記できる。
		10週	評論「思考の肺活量」（鷲田清一）②	問題提起の意味と論拠の合理性について理解できる。
		11週	評論「思考の肺活量」（鷲田清一）③ 表記トレーニング⑧	問題提起の意味と論拠の合理性について理解できる。 現代日本語を丁寧かつ正確に表記できる。
		12週	小説「裸川」（太宰治）①	翻案という手法の効果について理解できる。
		13週	小説「裸川」（太宰治）② 表記トレーニング⑨	翻案という手法の効果について理解できる。 現代日本語を丁寧かつ正確に表記できる。
		14週	小説「裸川」（太宰治）③	翻案という手法の効果について理解できる。
		15週	小説「裸川」（太宰治）④	翻案という手法の効果について理解できる。
		16週	後期末試験を実施する	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	65	0	0	0	35	0	100
基礎的能力	65	0	0	0	35	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0